



12 4 色鮮やかな花がお出迎え 新十津川農業高校でクリスマス販売会

新十津川農業高校でクリスマス販売会が開かれ、来場者は301人にのびりました。
農高では、5月の春のガーデニングフェアから始まり、8月のふるさとまつりでの即売、10月の収穫祭など、多数の販売会を催していますが、今年度の販売会はこれが最後の赤や緑のモールでクリスマスムードに飾り付けられたビニールハウスでは、色とりどりのポインセチアやシクラメン800鉢が来場者を出迎えました。園芸班3年の増山駿くんは「シクラメンは育てるのが難しい花なので、とても苦労しました。去年よりも花が売れていて、とてもいい感じですよ」と話していました。

12 18 若者パワー全開 青年団が体育祭を開催

新十津川町青年協議会（新青協）が、青年会館で体育祭を開き、12人の会員がハーフトニスで汗を流しました。
新青協は、若手社会人で行く町の青年団。体育祭では、毎年違った種目で会員同士の懇親を図っています。
試合が始まると、ハーフトニス初心者も経験者もついつい熱が入ってしまう様子でしたが、審判の巧みな判定もあって、笑顔あふれる体育祭になりました。





12 18 サンタクロースも登場 児童館クリスマス会

児童館でクリスマス会が開かれ、小学生38人が、工作やゲームをして、少し早いクリスマスを楽しみました。

クリスマス会には、サンタクロースや新十津川町青年協議会のお兄さん、お姉さんも参加。子どもたちは、サンタクロースと一緒に、溶かしたろうをプリンカップに流し込んで花形のクリスマスキャンドルを作ったり、じゃんけんゲームや宝探しゲームをしたりして楽しみました。

最後にサンタクロースが、白い大きな袋からプレゼントを取り出して一人一人に手渡すと、元気いっぱい「ありがとう」の声が次々に聞こえました。



12 13 安全作業で楽しいおまつりに

しんとつかわ雪まつりの準備作業開始を目前に控え、ふるさとまつり実行委員会が改善センターで安全祈願祭を開きました。

植田満町長や自衛隊滝川駐屯地の原田一郎司令、ジャンボすべり台の製作に携わる自衛隊員など39人が参列して、作業の安全を祈りました。

入井繁実行委員長は「おまつりまで50日近くありますが、けががないように尽力いただければと思います」とあいさつをしました。



12 11 合唱で心通わす

ゆめりあで新十津川中学校の歌声交流会が開催され、中学生191人が歌声を披露しました。

歌声交流会は、中学校の公開授業の1つ。保護者や地域の人々が見守る中、1年生の「自分らしく」や3年生の「手紙」など、各学年2曲、計6曲を熱唱しました。

交流会には、女声合唱団アザレアコーラスと男声合唱団スノーグリーも駆けつけ、全体合唱の「大地さんしょう讃頌」では世代を超えて心を通わせました。

